

2017 在校生の活躍

陸上競技部
電子機械科二年 石川 空君が
全国高校総体とU18日本陸上競技選手権出場

平成二十九年七月二十九日、八月二日に山形県天童市において、第七十回全国高校総体が行われました。本校からの陸上部参加は十人以上なく、とてもうれしく思っています。二年電子機械科 石川 空は、走幅跳で全道大会（旭川市）五位（6 m 91 cm）となり自身初の全国大会の切符を手に入れました。

全国高校総体での走幅跳参加者は各ブロック代表の六十六名と多く、予選三ラウンドを試技するのにも二時間以上かかります。予選通過記録は、7 m 25 cmでしたが自己記録更新で予選落ちとなりました。初めての全国大会においてすべてが勉強になりました。招集開始から試技開始まで一時間以上かかること、参加人数が多いこと、試技から試技の待ち時間長いこと、自宅から試合会場までの移動距離と時間が長いこと、それに全国大会で実力を発揮することが難しいこと。全国大会の反省を元に望んだ新人全道大会では、7 m 10 cm（自己新記録）を跳び見事優勝、同時にU18日本陸上競技選手権出場標準記録（7 m 05 cm）も突破、十月二十日、二十二日に愛知県名古屋市中区で開催される大会に出場してきました。

を務め、記録も1 m伸びました。彼の練習に対する真面目な取り組みと家族のサポート、それに同学年部員の小泉 誠がいたからこそ、の結果だと思っています。現在、本校陸上競技部は、二年生六名と少数で、また練習環境でもトラック50 mと幅跳びピットしかなく充分な設備とは言えませんが、二年生石川・小泉が練習を引っ張り多くの選手を全国大会に出場するという気持ちで頑張っています。今後とも陸上競技部の応援をよろしく願います。

顧問 八重樫雅之



『新年を迎え』

北海道室蘭工業高等学校 同窓会会長 川 田 寿 之



新しい年を迎え、皆様におかれましては心よりお喜びを申し上げます。

昨年、北海道室蘭工業高等学校同窓会前会長 阿部勝好様が逝去されました。阿部前会長は、長年にわたり、同窓会長として職責を担われておりました。六十周年、七十周年の記念式典では自ら陣頭指揮を取り、知れないものがありましたが、ここに、ご冥福を悼み心よりお祈り申し上げます。さて、昨年は北朝鮮のミサイル発射で、北海道上空を通過させる実験が数回行われ、幾度となく私たち道民に恐怖と不安を味わいました。

アメリカを挑発するようない行為に日本が巻き添えにならないよう、日本政府は早く解決して私たちが安心して暮らせる国にしたいと思っています。経済では自動車業界が好調で、株価も順調に上がり、昨年の日本の経常利益が過去最高を記録し、有効求人倍率も1・5倍以上の高水準と発表されました。しかしその反面、実質消費支出が前年より減少しており、不安な面もまだまだあります。今年度の就職戦線も売り手市場となり、学生たちにとってはうれしい悲鳴となりました。本校の就職活動も今年度

本校の近況について

北海道室蘭工業高等学校長 近 野 仁



す。二〇一八年の新春を健康に迎えたことと拝察します。また日頃より本校の教育活動に物心両面から心温まるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、今年度一年を振り返ってみると国内外でいろいろなことがあり、自然災害では、異常気象では済

まされない地球規模での環境の変化が感じられます。胆振管内においても台風による暴風雨等で大きな被害を受けました。また、学校関係では県高体連主催の冬山登山講習会において8名の高校生が雪崩によって死亡した事故は、学校関係者にとっては衝撃的であり、明るい出来事では、やはり、上野動物園でパンダが誕生、シャンシャンと命名され、その仕草を見て誰もが心を癒やされました。北海道においては、七球団から指名された清宮選手が日ハムに入団したことも明るい話題

の一つだと思います。国外関係では、身近なところで北朝鮮問題の解決策がなかなか見いだせないことやアメリカンファーストによる世界規模での影響、貧富の拡大、宗教や民族間の争いなどグローバル化による日本への影響も対岸の火事ではない時代になつていくでしょう。それでは、本校の近況について概略を記したいと思います。平成二十九年度入学者数は、一七八名、二二名の定員不足が生じました。現在の在校生は、四四八名となっており、定員に比べ一五二名少ない状況下にあります。特に入学時の定員割れについては、高校説明会、出張授業、体験入学、その他地域貢献活動などを通じて工業高校の優位性をアピールすることが、少子化の影響を避けたが、少子化の影響は避けられない状況です。これに伴い、皆さんもご存じのとおり、一口減が昨年度、道教委より提案され、今年度、該当学科が情報技術科とした間口削減策が正式決定しました。平成三三年度からは四間口の工業高校ということとなります。しかし、本校は工業都市室蘭地区の人材育成の要であることには変わりありません。これからは時代の変化に求められる人材を社会に送り出していく所存です。

次に、部活動の状況をご紹介します。体育系では、陸上、ボクシング、柔道、バドミントンの各々が全道大会出場を果たし、他の部も日頃の練習の成果を十分に発揮してくれました。特に陸上部は、練習環境も不十分

発行所

室蘭市宮の森町3-1-1

北海道室蘭工業高等学校
同窓会事務局

平成29年7月 就職懇談会出席者

学 科	氏 名	会 社 名 ・ 学 校 名
環 境 土 木 科	透 太 河 平 生 梨	株式会社開発工営社
	楠 浩 大 広 季 朱	株式会社ナガワ 登別営業所
電 気 科	藤 藤 島 木 田 村	株式会社ムロランズスキ
	宮 高 橋 井 中 武 佐 臼 今 米 眞	夢中建設株式会社室蘭支店 前田道路株式会社南岩手営業所 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社室蘭製作所
建 築 科	本 橋 本 上 村 田 藤 針 村 本 壁	JXTGエネルギー室蘭製造所 新日鐵住金株式会社室蘭製鐵所 日鉄住金テックスエンジニア株式会社室蘭支店 株式会社ドウデン 株式会社耕電設 財団法人北海道電気保安協会 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社室蘭製作所 大同電設株式会社 北海道電力株式会社 幌清株式会社 鐵和電設株式会社
	川 田 野 齊 二 之 宮 森 黒 外 武 星	株式会社川田建設工業 株式会社草塩建設 株式会社住まいのウチケ 産業振興株式会社室蘭事業所 新興プランテック株式会社室蘭事業所 遠田建設株式会社 藤川建設株式会社 北海道コンクリート工業株式会社登別工場 株式会社植崎製作所
電 子 機 械 科	山 篠 宮 千 菅 高 大 武 塩 下	株式会社スガテック室蘭支店 株式会社日鋼機械センター トヨタ自動車北海道株式会社 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社室蘭製作所 新日鐵住金株式会社室蘭製鐵所 日鋼検査サービス株式会社 日鉄住金テックスエンジニア株式会社室蘭支店 日本製紙株式会社北海道工場勇弘事業所 函館どつく株式会社室蘭製作所 北海道パワーエンジニアリング株式会社
	角 谷 健 太 人 也 花 司 月 充 久 ひとみ 空 円	JXTGエネルギー室蘭製造所 株式会社テツゲン室蘭支店 第一鉄鋼株式会社 特定医療法人社団千寿会三愛病院 日本工学院北海道専門学校ゲームクリエイター科 北斗文化学園北海道福祉教育専門学校こども未来学科 北海道情報大学情報メディア学科メディアテクノロジ専攻 北海道職業能力開発大学校電子情報技術科 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社室蘭製作所 日鉄住金テックスエンジニア株式会社室蘭支店
情 報 技 術 科	中 及 佐 三 塚 宮 木	尾 川 人 空 円 司 月 久 ひとみ
	野 根 西 村 夏 朱	株式会社高橋建設 生活協同組合コープさっぽろ 東むろらん店 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社

平成29年11月 就職懇談会出席者

学 科	氏 名	会 社 名 ・ 学 校 名
環 境 土 木 科	野 根 西 村 夏 朱	株式会社高橋建設 生活協同組合コープさっぽろ 東むろらん店 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社
電 気 科	引 金 太 小 石 五 大 鈴	株式会社テツゲン室蘭支店 株式会社ドウデン 新日鐵住金株式会社室蘭製鐵所 拓北電業株式会社 鐵和電設株式会社 北海道電気工事株式会社 北海道電力株式会社 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社
建 築 科	神 川 育 高 二 藤 外 木	株式会社日鋼機械センター 株式会社川田建設工業 株式会社住まいのウチケ 株式会社もりもと 産業振興株式会社室蘭事業所 星槎道都大学美術学部建築学科建築デザイン専攻 藤川建設株式会社 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社
電 子 機 械 科	宮 水 佐 佐 熊 村 吉 久	大同技研株式会社 株式会社植崎製作所 株式会社富岡鉄工所 株式会社日本製鋼所室蘭製作所 新日鐵住金株式会社室蘭製鐵所 日本製紙株式会社北海道工場勇弘事業所 北海道パワーエンジニアリング株式会社 北海道旅客鉄道株式会社
情 報 技 術 科	中 及 佐 三 塚 宮 木	JXTGエネルギー株式会社室蘭製造所 第一鉄鋼株式会社 日鉄住金テックスエンジニア株式会社室蘭支店 日本工学院北海道専門学校ゲームクリエイター科 北斗文化学園北海道福祉教育専門学校こども未来学科 北海道職業能力開発大学校電子情報技術科 三菱製鋼 室蘭特殊鋼株式会社

平成29年度 就職懇談会 同窓生招き開催

昭和30年から開催されている就職懇談会（学校進路指導部主催）が今年度も開催されました。毎年3年生を対象に行われてきた就職懇談会ですが、在校生にもっと早い時期から進路に対する意識を高めてもらうと、今年度からは2年生を対象に行うこととなりました。その為、今年度に限り3年生対象に7月11日（火）、

2年生対象に11月17日（金）の合計2度就職懇談会を開催しました。12時30分に大会議室で全体会を開催、近野仁校長・川田寿之同窓会長からご挨拶をいただきました。全体会終了後、同窓生たちは用意した昼食を食べながら話に花を咲かせていました。休憩後5学科ごとに各教室へ分かれた先輩たちは、グループに分かれたり、クラス全員に対したり、社会人として自分達が経験してきた貴重な体験を後輩たちにアドバイスしていました。参加された同窓生は、室蘭管内をはじめ道内各地で製鉄・電力・建設・公務員・専門学校・大学など、各分野で活躍されていて、入社試験のことや仕事内容・給料・休暇・残業などについて、楽しく後輩たちに紹介していました。在校生にとっては、厳しい就職状況の中、進路決定や社会人としての心構えなど大変参考になりました。



平成二十九年 定期総会報告

平成二十九年同窓会定期総会は、六月九日（金）午後六時より室蘭市役所支部・室蘭ガス支部をはじめ、建築部会のご参加をいただき、約三十名の同窓生、教職員の方々のご参加で開会し、始めに川田会長の挨拶で始まり、来賓を代表し伊藤正法教頭のご挨拶をいただき、総会が進められ、無事終了いたしました。総会の結果につきましてご報告いたします。

議 事

- 一、平成二十八年同窓会会務、事業報告
- 二、平成二十八年同窓会会計決算報告
- 三、平成二十八年度積立金報告
- 四、平成二十八年度会計監査報告
- 五、平成二十九年同窓会事業計画（案）審議
- ① 同窓会運営の充実
- ② 本部・支部の連携強化、及び支部への支援
- ③ 母校への支援活動
- 六、平成二十九年同窓会会計予算（案）審議
- 七、平成二十九年役員改選について
- 八、その他

本年度定期総会は、ご出席頂ける方が少なく、少し寂しい会となりましたが、顧問の小幡孝一氏が出席して頂きました。また、川田会長より、本年度も同窓会運営の充実と活動が活発になるよう、女子会・若い同窓生が多く参加できるように親睦事業や周年行事に向け昨年同様計画的に活動していきたいと挨拶をいただきました。今年の定期総会には、お忙しいところご出席頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。平成二十九年役員も全員が留任し、多くの同窓生が参加できるよう活動して行くと、役員会で話され総会で承認されました。

平成29年度北海道室蘭工業高等学校同窓会会計予算

平成29年4月7日
北海道室蘭工業高等学校同窓会

収入の部

項 目	平成28年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	増 減	備 考
積 立 金	505,190	501,693	△ 3,497	平成20年度積立金を解約
新 会 員 会 費	561,600	553,200	△ 8,400	会費1200円×461人
繰 越 金	297,200	349,371	52,171	前年度繰越金
雑 収 入	6,010	5,736	△ 274	利息他
合 計	1,370,000	1,410,000	40,000	

支出の部

項 目		平成28年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	増 減	備 考
事 務 費	事務用品費	3,000	3,000	0	領収書他
	事務備品費	5,000	5,000	0	プリンタインク他
	事務局費	5,000	5,000	0	活動費
	雑 費	50,000	50,000	0	退学者返却金
	小 計	63,000	63,000	0	
会 議 費		150,000	150,000	0	総会補助、役員会補助他
通 信 費		50,000	50,000	0	切手代、はがき代他
印 刷 費		5,000	5,000	0	封筒印刷代、写真用紙代
事 業 費	卒業記念費	95,000	95,000	0	卒業生へ記念品贈呈
	就職懇談会費	35,000	70,000	35,000	懇談会補助（今年度2回）
	文体補助費	130,000	130,000	0	全道・全国出場部等へ補助
	追加名簿事業費	5,000	5,000	0	
	支部活動費	72,000	72,000	0	支部総会助成・参加費
費	クラス代表幹事育成費	10,000	10,000	0	幹事会補助
	会 報 費	55,000	55,000	0	会報の発行代
	親睦活動費	30,000	30,000	0	親睦会補助
	弔 慰 費	10,000	10,000	0	弔電他
	小 計	442,000	477,000	35,000	
予 備 費		148,400	161,800	13,400	
積 立 金		511,600	503,200	△ 8,400	定期積立
合 計		1,370,000	1,410,000	40,000	

総会終了後は懇親会が行われました。余興では室工クイズ大会が行われ、「川田会長は歴代何代目の会長でし

承認された平成二十九年役員は次のとおりです。

顧問	小幡 孝一（土四一年 前副会長）
会長	川田 寿之（建五四年 榊川田建設工業）
副会長	半崎 敏裕（建四三年 南半崎建築事務所）
市橋 隆（建四四年 新和建設）	
山中 正尚（電四六年 室蘭市議会議員）	
工藤 英夫（土四八年 室蘭市役所）	
民谷千鶴子（建四八年 女子部）	
北村恵理子（機五九年 女子部）	
山本 由香（工五八年 女子部）	
中田 悠樹（土一五年 室蘭市役所）	



よう？」「校歌 梁山青く野辺広く丘辺にかほる・・・続きは何でしょう？」などが出題され、皆さん真剣に考えていました。その他、ビンゴや校歌斉唱を行い、最後は山中正尚副会長より閉会の挨拶をいただき終了いたしました。